

## 成績概要書 (2003 年 1 月作成)

課題分類：

研究課題：平成 14 年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫 (植物防疫事業)

担当部署：北海道病害虫防除所、中央農試クリーン農業部病虫科、総合防除科

上川農試研究部病虫科、道南農試研究部病虫科、十勝農試生産研究部病虫科

北見農試生産研究部病虫科、花・野菜技術センター研究部病虫科、農業改良課

担当者氏名：

協力分担：全道 56 地区農業改良普及センター

予算区分：補助 (農林水産省) 道費

研究期間：2002 年度 (平成 14 年度)

### 1. 目的

本年実施した調査および試験研究結果から、特に留意を要する病害虫について注意を喚起する。

### 2. 方法

- 1) 農作物有害動植物発生予察事業
- 2) 突発および新発生病害虫診断試験および調査
- 3) 各種の試験および調査

### 3. 成果の概要

#### 1) 平成 14 年にやや多～多発した病害虫

- (1) 大豆：べと病
- (2) ばれいしょ：粉状そうか病
- (3) りんご：腐らん病、ネズミ類
- (4) たまねぎ：白斑葉枯病、軟腐病、乾腐病、タマネギバエ、ネギアザミウマ
- (5) ねぎ：さび病、ネギアザミウマ
- (6) だいこん：軟腐病、キスジトビハムシ
- (7) はくさい：黒斑病
- (8) キャベツ：根こぶ病

#### 2) 平成 15 年度に特に注意を要する病害虫

- (1) 小麦の赤かび病
- (2) 小麦うどんこ病のストロビルリン系薬剤耐性菌の出現
- (3) オキシリニック酸水和剤に対する各作物の軟腐病菌の感受性低下
- (4) 春期高温年における各種害虫の早・多発

### 3) 新たに発生を認めた病害虫

- (1) 水稻のアカスジカスミカメ (新発生) *Stenotus rubrovittatus* (Matsumura)
- (2) 小豆のピシウム苗立枯病(新称、病原の追加) *Pythium spinosum* Sawada, *P. myriotylum* Drechsler, *P. mamillatum* Maurs
- (3) ほうれんそうのべと病 (新レース) *Peronospora effusa* (Greville) Cesati
- (4) ねぎ、にらのネギアブラムシ (新発生) *Neotoxoptera formosana* (Takahashi)
- (5) 菜豆のケブカチチュウワタムシ (新発生) *Smynthuroides betae* Westwood
- (6) ふきのキベリトゲハムシ(新寄主) *Dactylispa masonii* Gestro
- (7) はばたんの黒腐病 (新発生) *Xanthomonas campestris* (Pammel) Dowson
- (8) ひまわりのクロゲハナアザミウマ (新寄主) *Thrips nigropilosus* (Uzel)
- (9) しいたけのイタヤムラサキトビムシ (新寄主) *Hypogastrura* (*H.*) *itaya* Kinoshita

### 4. 成果の活用面と留意点

ここに記載した病害虫について、特に今後の発生動向に注意する。

### 5. 残された問題とその対応

- 1) 各種病害虫の要防除水準の設定
- 2) 簡易な調査方法とモニタリング手法の改善
- 3) 発生変動要因の解明と発生予察法の改善
- 4) 病害虫発生情報の収集および伝達の迅速化